

県政を
身近に

あらい絹世の

磯っ子レポート

www.araikinuyo.jp

◎編集:新井絹世
横浜市磯子区丸山 2-24-3
◎電話:045-751-5250
◎FAX:045-761-7451



災害に備えていますか？

神奈川県を含む南関東で今後30年以内にマグネチュード7程度の直下型地震が発生する確率は70%程度と公表され、大地震は何時起こってもおかしくありません。阪神・淡路大地震の時に、実際にどんな行動を取ったのかについてのアンケートによると39.5%もの人が「何も出来なかった」と回答しています。いざというときにあわてないように普段から災害への備えが必要です。

今すぐ出来る備え

① 自守防災の意識を持ちましょう

自分の身は自分で守るという「自守防災」の意識が大切です。また、これまでの災害においても、最も多くの人命を救ったのは地域の住民でした。日頃から地域でコミュニケーションを図り災害に備えましょう。

② 危険箇所をチェックしましょう

自然災害が発生した場合の被害の様子や、避難・救援活動に必要な情報が掲載されている『防災マップ』であらかじめ危険箇所・避難経路の確認をしましょう。

③ 避難場所を確認しましょう

- 家屋の倒壊などで自宅に戻れない時の為に『地域防災拠点』を確認しましょう。磯子区では、滝頭小学校・根岸小学校・磯子小学校・杉田小学校・汐見台中学校など小中学校22校が地域防災拠点となっています。
- 火災が発生し、延焼が拡大した時の為に『広域避難場所』を確認しましょう。磯子区では、根岸住宅地区・汐見台団地及び久良岐公園一帯・岡村公園など7箇所が広域避難場所となっています。
- 被災により、負傷してしまった時の為に『地域医療救護拠点』を確認しましょう。磯子区では、岡村中学校・根岸中学校・汐見台中学校・森中学校など中学校7校が地域医療救護拠点となっています。

④ 防災用具や非常持ち出し品のチェックをしましょう

災害発生直後は、物資の調達や供給が困難になりますので、一人ひとりが3日分の水や食糧・日用品を備えましょう。

⑤ 安全な空間を確保しましょう

家具の転倒・落下により避難が遅れる、寝ている間に倒れてきた家具の下敷きになるなど危険があります。大地震では家具は必ず倒れるものと考えて部屋の総点検を行いましょう。



内閣府「災害被害を軽減する国民運動のページ」参照

あらい絹世プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 現在、あらい敏二郎県議会議員秘書
- 横浜雙葉小・中 / 高等学校卒業
- ホノルルマラソン / 東京マラソン 完走
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン



防災について あらい絹世はこう考えます

大災害が発生した時は行政や消防、警察などの防災関係機関の対応が追い付かない場合が予想されます。阪神淡路大震災に生き埋めや閉じ込められた人の救助を誰が行ったかを調べてみると、「自力で」「家族に」による救助は約67%、「友人・隣人に」が約30%。道路の寸断などにより現場にたどり着けず救急や自衛による救助はわずか2%でした。「自分の命は自分で守る」という「自助」、「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の考えが被害を最小限にとどめることができます。いつどんな時に、助ける側、助けられる側になるかわかりません。それらの活動を円滑にするためには、日頃の地域内の付き合いが大切です。地域の防災活動に参加しみんなで助け合い協力し合える地域をつくっていく必要があります。

地震は自宅にいる時におこるとは限りません。通勤・通学時など外出時に被災にあった場合は大震災の発生により公共交通機関が停止し多くの方が帰宅困難になります。昼の12時に地震が発生した場合東京・神奈川・埼玉・千葉の1都3県では約650万人もの帰宅困難者が発生すると想定されています。ターミナル駅周辺には、ピーク時10万人を超える帰宅困難者が滞留する場合も想定されています。帰宅困難者の問題は複数の行政区をまたぐものです。一時的に、これらの人を安全な避難場所に誘導し、食料・飲料水等の提供、道路情報等の提供が欠かせず、避難場所となる地域防災拠点で帰宅困難者を受け入れるよう地域住民・地域組織の協力が必要です。災害時帰宅支援ステーションの様に隣接する行政や企業・学校が一つとなって取り組んでいく必要があります。

災害意識は時間と共に薄れるものです。くれぐれも「忘災」にならないよう気をつけましょう。

【災害時帰宅支援ステーション】

九都県市（神奈川県・埼玉県・千葉県・東京都・川崎市・横浜市・相模原市・さいたま市・千葉市）では、コンビニエンスストアやファーストフード、ファミリーレストラン、ガソリンスタンドと災害時の徒歩帰宅者支援のため協定を結んでいます。協定を結んでいる店舗には店頭で右のステッカーが貼られています。

災害時帰宅支援ステーションでは①水道水の提供 ②トイレの使用 ③地図等による道路情報、ラジオ等で知り得た通行可能な道路に関する情報の提供など、可能な範囲で協力して貰えることになっています。

Am/pm、セブンイレブン、ローソン、吉野家、デニーズ、埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県石油商業組合加盟のガソリンスタンド等

コンビニエンスストア・ファミリーレストラン
など



神奈川県内ガソリンスタンド



次回の お題は 「月」

貴方の川柳を次号「あらい絹世の磯っ子レポート」に掲載します。

- ・匿名、イニシャルで結構です。
- ・お住まいの町名、差し支えなければお名前をお書き下さい。
- ・お申し込みはFAXで（締め切りは9月27日です）
- ・残念ながら賞金・賞品の提供はございません。

時節の川柳大募集

先月のお題は「秋」
沢山のご投稿有り難う
ございます

夏
うさぎの月
バテか少し
（Kさん）

入三秋
道段腹空
雲の
（Mさん）

秋の恋鈴
の夜を虫
（Sさん）

秋待ち夏
風が遠きた
（Aさん）